

公益財団法人 全国商業高等学校協会 主催
文部科学省 後援

令和7年度 第101回
簿記実務検定試験
第2級

(令和8年1月25日実施)

時間 10時50分から12時20分 (制限時間90分)

注意事項

- 監督者の指示があるまで、問題を開いてはいけません。
- 問題用紙は1ページから9ページまであります。
- 問題用紙の落丁や印刷が不鮮明である場合には、拳手をして監督者の指示に従いなさい。なお、問題についての質問には応じません。
- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 途中退室は原則できません。
- 試験終了後、問題用紙も回収します。

受験番号

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
電子記録債権	(未収入金)	仮払消費税	備品
備品減価償却累計額	支払手形	買掛金	電子記録債務
仮受消費税	未払消費税	売上	固定資産売却益
仕入	固定資産売却損		

- a. 岩手商店は、商品 $\text{¥}385,000$ (消費税 $\text{¥}35,000$ を含む) を仕入れ、代金は掛けとした。ただし、消費税の処理については、仮払消費税勘定を用いている。
- b. 沖縄商店は、期首に取得原価 $\text{¥}700,000$ の商品陳列用ケースを $\text{¥}162,000$ で売却し、代金は月末に受け取ることにした。なお、この商品陳列用ケースに対する減価償却累計額は $\text{¥}448,000$ であり、これまでの減価償却高は間接法で記帳している。
- c. かねて、福島商店に対する売掛金 $\text{¥}240,000$ について、同店の承諾を得て、電子債権記録機関に電子記録債権の発生記録をおこなっていたが、本日、上記の電子記録債権が支払期日となり、当店の当座預金口座に $\text{¥}240,000$ が振り込まれた。

2

次の各問に答えなさい。

- (1) 徳島商店（個人企業 決算年／回 /2月31日）における下記の資料と勘定によって、次の金額または勘定科目を記入しなさい。ただし、引出金勘定を用いている。
- 損益勘定の（a）に入る勘定科目
 - 資本金勘定の次期繰越し（bの金額）
 - 期首商品棚卸高

資 料

i 期首の資産総額	¥ 953,000
ii 期首の負債総額	¥ 603,000
iii 当期純仕入高	¥ 436,000
iv 期間中の追加元入額	¥ 70,000
v 期間中の引出金	¥ 2,000

（ただし、引出金勘定の残高は期末に資本金勘定に振り替える）

vi 期末の資産総額	¥ 1,070,000
（うち、商品	¥ 67,000)
vii 当期純利益	¥ 230,000

資 本 金

12/31 () ()	1/1 前期繰越し ()
〃 次期繰越し (b)	6/30 現金 ()
	12/31 () ()
	()

損 益

12/31 仕 入 427,000	12/31 売 上 715,000
〃 給 料 60,000	〃 受取手数料 6,000
〃 支 払 家 費 4,000	
〃 (a) ()	
	()

(2) 支店会計が独立している広島商店の下記の取引について、仕訳を示しなさい。ただし、広島商店は本店集中計算制度を採用している。なお、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	売 掛 金	立 替 金	買 掛 金
発 送 費	岡 山 支 店	山 口 支 店	本 店

a. 岡山支店は、山口支店の得意先香川商店に対する売掛金 $\text{¥}260,000$ を現金で回収した。

(岡山支店の仕訳)

b. 本店は、山口支店から、同支店負担分の発送費 $\text{¥}3,400$ を岡山支店が現金で立て替え払いしたとの連絡を受けた。(本店の仕訳)

3

3 伝票制を採用している千葉商店の下記の取引と伝票から、次の(1)と(2)に答えなさい。

- (1) /月20日の略式の伝票を集計したさいの、仕訳集計表の（ア）から（ウ）に入る金額を計算しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。
- (2) 下記の仕訳集計表から、総勘定元帳に転記後の現金勘定の残高を計算しなさい。ただし、/月/19日の現金勘定の残高は $\text{¥}38,000$ (借方) であった。

取引

/月20日 従業員が出張から戻り、交通費 $\text{¥}6,700$ の申請があったため、現金で支払った。

々日 電気料金 $\text{¥}58,900$ が普通預金口座から引き落とされた。

振替伝票 (借方)		振替伝票 (貸方)	
仕 入	193,200	買 掛 金	193,200
売 掛 金	364,100	売 上	364,100
普 通 預 金	478,000	電子記録債権	478,000
電子記録債務	260,000	普 通 預 金	260,000
電子記録債権	380,000	売 掛 金	380,000
仕 入	175,000	買 掛 金	175,000
買 掛 金	59,000	電子記録債務	59,000
売 掛 金	437,800	売 上	437,800
() ()	() ()	() ()	() ()

入金伝票	
売 掛 金	46,100
売 掛 金	57,800
普 通 預 金	7,900
() ()	() ()

出金伝票	
買 掛 金	23,200
水道光熱費	7,900
買 掛 金	25,000
() ()	() ()

仕訳集計表

令和〇年/月20日

借 方	元 予	勘 定 科 目	元 予	貸 方
		現 金		
		普 通 預 金		
		売 掛 金		(ア)
		電子記録債権		
		買 掛 金		(イ)
		電子記録債務		
		売 上		
		仕 入		
		交 通 費		
(ウ)		水 道 光 熱 費		

4

埼玉商店の下記の取引について、

- (1) 総勘定元帳に記入しなさい。
- (2) 補助簿である現金出納帳、売上帳、商品有高帳（A品のみ）に記入しなさい。
ただし、i 総勘定元帳は、日付と金額のみを記入すればよい。
ii 商品有高帳は、移動平均法により記帳している。
iii 現金出納帳、売上帳、商品有高帳は月末に締め切るものとする。
iv 消費税については考えないものとする。

取引

/月 6日 茨城商店から次の商品を仕入れ、代金は現金で支払った。

A 品 400個 @ ¥180

7日 神奈川商店へ5日に売り渡したB品について、次のとおり返品された。なお、この代金は売掛金から差し引くこととした。

B 品 20個 @ ¥250

13日 栃木商店に対する買掛金 ¥36,000 を、小切手#15を振り出して支払った。

14日 東京商店に次の商品を売り渡し、代金は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

A 品 300個 @ ¥300

16日 群馬商店に対する売掛金 ¥40,000 について、当店の当座預金口座に振り込まれたとの通知を取引銀行から受けた。

19日 栃木商店から商品を仕入れ、次の納品書を受け取った。なお、代金は掛けとした。

納品書

No.1812

令和〇年1月19日

埼玉県深谷市原郷80

埼玉商店 御中

下記のとおり納品いたします

栃木県宇都宮市大曾3-1-46

栃木商店



品名	数量	単価	金額
A品	200個	170	34,000
B品	60個	150	9,000
C品	180個	90	16,200
合計			¥59,200

次ページに続く

前ページから続く

22日 群馬商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。

A 品	200個	@ ₩300
C 品	100"	" " 150

△日 上記の商品を売り渡したさい、発送を浦和運送に依頼し、代金は現金で支払った。そのさいに次の領収証を受け取った。なお、発送にかかった費用は当店負担のものである。

領 収 証		No.0112
<u>埼玉商店様</u>		令和〇年1月22日
金額	¥ 4,500 -	
ただし、配達料金として上記正に領収いたしました 浦和運送		
埼玉県さいたま市南区 白幡二丁目19番39号 TEL 048-861-XXXX		
		浦和 運送

29日 神奈川商店に対する売掛金の一部を次の小切手#／9で受け取った。

No.19	小 切 手		全国 5001 0914-011
支払地 神奈川県横浜市保土ヶ谷今井町743			
株式会社 全商銀行 横浜支店			
金額	¥ 48,000 *		
上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください		神奈川県横浜市南区太田二丁目30-1	
拒絶証書不要		神奈川商店	
振出日 令和〇年1月29日		振出人 神奈川 丈太郎	
振出地 神奈川県横浜市			

5 秋田商店（個人企業 決算年／回 12月31日）の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項は、

次のとおりであった。よって、

(1) 損益計算書を完成しなさい。

(2) 貸借対照表に記載する前払保険料の金額を求めなさい。

ただし、売上と仕入以外の項目は、消費税については考えないものとする。

元帳勘定残高

現 金	¥ 425,900	当 座 預 金	¥ 2,058,000	受 取 手 形	¥ 1,360,000
売 掛 金	1,920,000	貸 倒 引 当 金	7,400	有 價 証 券	1,542,000
繰 越 商 品	153,000	仮 払 消 費 税	197,600	建 物	3,500,000
建物減価償却累計額	1,050,000	備 品	760,000	備品減価償却累計額	152,000
土 地	1,646,900	支 払 手 形	1,936,700	買 掛 金	1,243,200
借 入 金	900,000	仮 受 金	610,000	仮 受 消 費 税	331,700
資 本 金	6,457,000	売 上	3,317,000	受 取 地 代	120,000
仕 入 金	1,976,000	給 料	285,400	保 険 料	264,000
通 信 費	16,800	雜 費	5,000	支 払 利 息	14,400

付 記 事 項

① さきに、仮受金勘定で処理していた ¥610,000 について、本日、その金額は、得意先山形商店に対する売掛金の回収額であることがわかった。

決算整理事項等

a. 期末商品棚卸高 ¥114,000

b. 貸 倒 見 積 高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ／%と見積もり、貸倒引当金を設定する。

c. 減 価 償 却 高 建物：定額法による。ただし、残存価額は零(0) 耐用年数は50年とする。
備品：定率法による。ただし、毎期の償却率は20%とする。

d. 有 價 証 券 評 價 高 有価証券は、売買目的で保有している次の株式であり、時価によって評価する。
青森株式会社 1,200株 時価 /株 ¥1,320

e. 保 険 料 前 払 高 保険料のうち ¥216,000 は、本年4月1日からの1年分を支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。

f. 地 代 前 受 高 ¥ 60,000

g. 利 息 未 払 高 ¥ 3,600

h. 消 費 税 の 納 付 額 消費税について納付額を計上する。

問題を読みやすくするために、このページは空白にしてあります。

6 は次ページにあります。

6

次の各問いに答えなさい。

(1) 次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

普 通 預 金	仮 払 法 人 税 等	未 払 法 人 税 等	資 本 本 金
資 本 準 備 金	繰 越 利 益 剰 余 金	創 立 費	開 業 費
株 式 交 付 費	法 人 税 等	損	益

a. 愛媛商事株式会社は、事業規模拡張のために発行した株式の発行費用 $\text{¥}89,000$ を、普通預金口座から支払った。

b. 高知株式会社（決算年／回）は、決算にあたり、当期の法人税・住民税及び事業税の合計額 $\text{¥}4,181,000$ を計上した。ただし、中間申告のさい $\text{¥}1,597,000$ を納付しており、仮払法人税等勘定で処理している。

(2) 宮城株式会社（決算年／回 3月31日 発行済株式数8,000株）の次の純資産に関する取引により、令和6年3月31日における繰越利益剰余金勘定の次期繰越高を求めなさい。なお、令和6年4月1日ににおける繰越利益剰余金勘定の残高は $\text{¥}8,200,000$ （貸方残高）であった。

純資産に関する取引

令和6年6月23日 株主総会において、繰越利益剰余金を次のとおり配当および処分することを決議した。

配 当 金	/株につき	$\text{¥}600$
利 涝 準 備 金		$\text{¥}480,000$
別 途 積 立 金		$\text{¥}1,500,000$

令和7年3月31日 決算の結果、当期純利益 $\text{¥}6,100,000$ を計上した。

第101回 簿記実務検定 2級 [商業簿記] [解 答 用 紙]

1	借 方	貸 方
a		
b		
c		

2

(1)	a		b	フ
	c	フ		

2	借 方	貸 方
a		
b		

1 得点		2 得点		3 得点		4 得点		5 得点	
---------	--	---------	--	---------	--	---------	--	---------	--

6 得点		総得点		試験場校		受験番号	

3

(1)

ア	¥
イ	¥
ウ	¥

(2)

¥

4

(1) (注意) 各勘定の記録は前期繰越高と、1月5日までの取引を示している。

現金 1			総勘定元帳			売掛け金 5		
			当座預金 2			売掛け金 5		
1/1 90,800			1/1 390,000			1/1 233,000		
						5 80,000		
買掛金 13			売上高 17			仕入 20		
	1/1 90,000			1/5 80,000				
発送費 23								

(2) (注意) 現金出納帳、売上帳、商品有高帳は締め切ること。

現金出納帳 6				
令和〇年	摘要	現金	支出	残高
/ /	前月繰越	90,800		90,800

商 品 有 高 帳

(移動平均法)

品名 A品

單位：個

3 得点		4 得点	
---------	--	---------	--

5

(1)

損益計算書
秋田商店 令和7年／月／日から令和7年／2月3／日まで (単位：円)

費用	金額	収益	金額
売上原価		売上高	
給料		受取地代	
貸倒引当金繰入		()	
()			
保険料			
通信費			
雑費			
支払利息			
()			

(2)

※

6

(1)

	借方	貸方
a		
b		

(2)

※

5		6	
得点		得点	